

2024年5月14日

各 位

会 社 名 パ ン チ 工 業 株 式 会 社
住 所 東 京 都 品 川 区 南 大 井 六 丁 目 22 番 7 号
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 CEO 森 久 保 哲 司
(コード番号：6165 東証スタンダード)
問 合 わ せ 先 経 営 戦 略 室 広 報 I R 課 長 松 田 隼 人
TEL. 03-5753-3130

2024年3月期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年10月27日に公表いたしました2024年3月期の通期連結業績予想と本日（2024年5月14日）公表いたしました実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (△は損失)	1株当たり 当期純利益
前 回 公 表 予 想 (A)	百万円 38,200	百万円 1,150	百万円 1,350	百万円 △ 900	円 銭 △ 36.79
実 績 (B)	38,344	1,240	1,421	△ 577	△ 23.61
増 減 額 (B - A)	144	90	72	323	
増 減 率 (%)	0.4	7.9	5.3	-	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	42,799	2,436	2,394	1,390	60.58

2. 連結業績予想との差異の理由

売上面につきましては、日本事業において食品・飲料関連の売上が予想を上回ったものの、全般的には前回予想に対して微増という結果となりました。

利益面につきましては、上記の日本事業での売上や、経営合理化の実行による経費削減効果が予想を上回ったことにより、営業利益及び経常利益は増加しました。また、日本事業における減損損失が予想を下回ったことや税効果の影響等により、親会社株主に帰属する当期純損失は予想より大幅に改善しました。

当社としては今後、2025年3月期が最終年度となる中期経営計画「バリュークリエーション2024 Revival (リバイバル)」に基づき、付加価値の高い特注品ビジネスにより特化し、持続的な利益成長を目指すことを方針として、最重点施策である「国内事業の再整備」及び「海外事業での成長」を行うことで、早急な事業体制の再構築と、業績の立て直しを図ってまいります。

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記予想の内容は、当社が本資料作成日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上